

あかいしんぶん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル



よんひやくじのきまつがたり

四百字の京がたり

ひいさま 藤間勘萃

No.027

閉店の後の、まぼろしの時間 七月サロン・ド・マチロン

もう十年以上前のこと。名古屋市内のとある住宅地に、まぼろしのようなカフェがあった。サロン・ド・マチロン。赤い壁に囲まれた店内には独特の時間が流れ、様々なジャンルのアーティストが引き寄せられるように集まった。さながら二十世紀初頭のモンマルトルのごとく。

9か月間の営業を経て、2015年の6月に突然の閉店となったのだが、翌7月も昼下がりにぽつりぽつりと開店し、マチロンを愛してやまない客人たちが、まぼろしのように現れ集った。

何処の国とも、いつの時代とも知れない、ゆるりとした空間。コーヒーとクレープの香り。店主マチロンのうつくしい立ち姿。

リユート演奏、落語、オペラ歌唱、朗読…やがては失われるこのまぼろしのひと時を、皆それぞれに味わい愛おしんだ。

そんな赤い壁のカフェで筆者はバロック・リユート演奏家と出会い、まぼろしの昼下がりに、拙作「しじまの音」を音曲にあわせて語った。それが京がたりの始まりとなった。

動画ではサロン・ド・マチロンの赤い壁が見え隠れしているの、ぜひご覧いただきたい。

ひいさま (松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わる。高校時代、裏千家主催学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回裏千家ハワイセミナーに招待。京都私学ESS連盟主催英語暗唱大会優勝、英語弁論大会優勝。大学時代、世界遺産「下鴨神社」で十二単王朝舞を学び、名月管絃祭で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人きものカラーコーディネーター協会認定講師として、きもの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンサルティングを、名古屋を中心に各地で展開。きものカラーワークやセルフ和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。Instagram → @hiromimatsune

ふじまかんすい 藤間勘萃

1958年に名古屋で生まれ、1977年にデビュー。日本舞踊家(宗家 藤間流 名執)／楽師としてNHK「日曜美術館」や「花の舞・花の宴」、養老孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田舜一郎(小鼓方 大倉流15代宗家)との「秋天の興」など放送や舞台上に数多く携わる。作／編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽、名古屋市芸術祭主催公演テーマ曲、関西二期会オペラ、合唱曲「弥陀観音大勢至」(深井丸 興西寺所蔵)、「おとほぎ」(あいちオカリナフェスタテーマ曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光壽山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部にて講師。



ひいさま 藤間勘萃 幻燈館
文中で紹介した動画を YouTube でご覧いただけます。
QRコードを読み取っていただくか、「藤間wonderful」で検索して下さい。



ひいさま 藤間勘萃の
ホームページはこちら

